

第7章 文化財の一体的・総合的な保存・活用に関する方針と措置

第1節 竹田市の関連文化財群

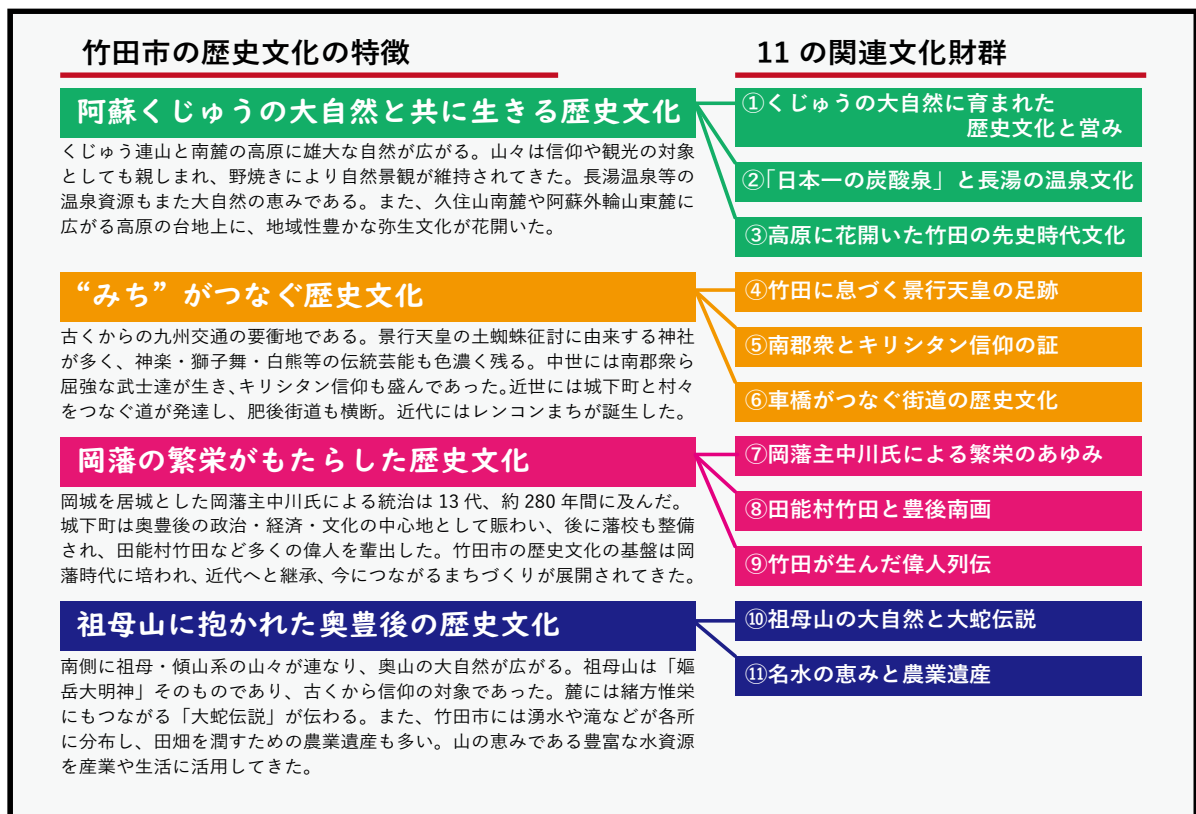
(1) 関連文化財群の設定方針

本市の歴史文化の特徴を物語る多様な文化財を、共通の背景や文脈を持つストーリーでまとめ、相互の関係性を踏まえた一体的・総合的な保存・活用に取り組むことにより、俯瞰的な視点から歴史文化の価値等に対する市民及び来訪者等の理解を促進するとともに、それらを構成する個々の資産の存在意義を高めていくことで、保存・活用に関わる多様な主体が歴史文化を身近に感じ、地域に対する誇りや愛着を育み、歴史文化を活かしたまちづくりへと主体的に取り組む。

- ・ 竹田市の歴史文化の特徴を反映し、その魅力をわかりやすく伝えるストーリーとする。
- ・ 市民が共感でき、文化財を活用したまちづくりの促進につながる内容・構成とする。
- ・ 来訪者にその魅力をアピールでき、市民観光等のための回遊性の向上につながる内容・構成とする。
- ・ ストーリーは、指定等文化財だけでなく、未指定を含む文化財で構成する。
- ・ 地域や学校での郷土学の推進につながる内容・構成とする。

以上の点に留意し、竹田市の歴史文化の特徴を踏まえ、下図のように11の関連文化財群を設定する。今後、調査研究の進展や市民の発案により、さらなる関連文化財群の充実と設定を進める。

(2) 竹田市の関連文化財群



関連文化財群Ⅰ くじゅうの大自然に育まれた歴史文化と営み

竹田市の北側にくじゅう連山が連なり、その南麓に雄大な久住高原が広がる。阿蘇くじゅう国立公園に指定され、噴煙を上げる火山特有の風景、ミヤマキリシマの群落が山頂一帯を覆う風景、ラムサール条約に登録された坊ガツル湿原や久住高原の草原風景など、四季折々の多彩な風景を見ることができる。九州本土最高峰の中岳^{なかだけ}(標高 1,791 m)など、標高約 1,700 m級の山々が連なる。「九州の屋根」とも呼ばれるくじゅう連山とその山麓には、大自然の中に様々な動植物が生息している。

くじゅうの山々は、古より霊場として久住山猪鹿狼寺^{くじゅうさん い か ら じ}や九重山法華院白水寺^{くじゅうさん ほ け い ん はくすいじ}などの寺院が開かれた。猪鹿狼寺は名が巻狩^{まきがり}に由来する珍しい古刹で、もとは延暦年間に開かれた慈尊院^{じそんいん}といった。鎌倉時代、富士の巻狩のため、源頼朝の命により阿蘇大宮司に巻狩の神事を学んだ梶原景高^{かじわらかげたか}らが久住山で巻狩を試し、たくさんの獲物を得た。久住山は殺生禁断の霊場とされていたため、頼朝は獲物となった鹿や猪の鎮魂のために慈尊院に寄進し、寺号を猪鹿狼寺に改めたという。後に現在地に移転したが、登山道の途中には久住山本堂跡が残る。また、法華院のはじまりも鎌倉時代と古く、江戸時代には岡藩の祈願所として武運長久と家内安全を祈願し、国境警備の任にもあたった。明治時代に4つの支院が下山し、弘蔵坊のみが残り、現在は法華院温泉山荘として多くの登山客を温かく迎えている。

くじゅう連山で3番目に高い大船山^{たいせんざん}(標高 1,786.2 m)の中腹には、「日本一高い所にある大名墓」である岡藩主中川家墓所がある。埋葬されたのは「入山^{にゅうざん}」と号した岡藩の3代藩主^{ひさきよ}中川久清。大船山を好んだ久清は人馬鞍^{ひとうまのくら}に背負われて登山し、自らの墓所を標高 1,400 m付近の鳥居ヶ窪^{とりいがくぼ}に造営させた。近代になると、登山客をはじめ多くの観光客が訪れるようになった。くじゅうの大自然に魅了された多くの文学者や芸術家が作品を残し、与謝野晶子ら文学者の歌碑が麓に広がる久住高原に点在している。

久住高原では、古より牛馬の飼育が行われ、草地確保のための野焼きが行われてきた。広大な草原風景は長い年月をかけ、高原に住む人々の営みと久住高原の大自然の共生により形成されたものである。現在も畜産業が盛んで、放牧や採草地として利用され、本市の代表的な景観を形成している。登山道の整備や希少動植物の保護活動なども地域住民によって絶え間なく行われてきた。高原と人の営みが調和した文化的な景観は、雄大かつ四季折々の風景とともに、今なお多くの人々を魅了している。



くじゅう連山と久住高原



野焼きの風景



岡藩主中川家墓所（大船山）

【構成文化財】

分類	名称	指定等
1 記念物(遺跡)	岡藩主中川家墓所(大船山)	国指定
2 記念物(動物、植物、地質鉱物)	大船山のミヤマキリシマ群落	国指定
3 記念物(動物、植物、地質鉱物)	くじゅう山のコケモモ群落	国指定
4 記念物(動物、植物、地質鉱物)	久住のツクシボダイジュ	県指定
5 有形文化財(美術工芸品)	常楽寺の石造十一面観音菩薩座像 ・石造不動明王立像	市指定
6 有形文化財(美術工芸品)	人馬の鞍	市指定
7 有形文化財(美術工芸品)	入山公大鏡	市指定
8 記念物(遺跡)	久住山本堂跡	市指定
9 記念物(名勝地)	南登山口のノシバ・ネザサ群落	市指定
10 記念物(動物、植物、地質鉱物)	平木のコナラ	市指定
11 記念物(動物、植物、地質鉱物)	塔の原のツバキ	市指定
12 有形文化財(美術工芸品)	木造十一面観音立像、木造不動明王立像、 木造毘沙門天立像(法華院観音堂)	未指定
13 有形文化財(美術工芸品)	十一面観音菩薩像(猪鹿狼寺)	未指定
14 有形文化財(美術工芸品)	久住山図(猪鹿狼寺)	未指定
15 有形文化財(美術工芸品)	工藤元平収集資料	未指定
16 有形文化財(美術工芸品)	白壁康絵画作品群	未指定
17 記念物(遺跡)	九重山法華院白水寺跡	未指定
18 記念物(名勝地/動物、植物、地質鉱物)	くじゅう連山(九重火山群)	未指定
19 記念物(名勝地/動物、植物、地質鉱物)	久住高原	未指定
20 記念物(名勝地/動物、植物、地質鉱物)	坊ガツル湿原	未指定
21 文化的景観	久住高原の草原景観 ※野焼きと畜産	未指定
22 有形文化財(建造物)	久住高原の文学碑群	未指定
23 由緒地(寺院)	猪鹿狼寺	未指定
24 由緒地(堂宇・小祠)	法華院観音堂(法華院温泉山荘)	未指定
25 由緒地(神社)	来田見神社	未指定

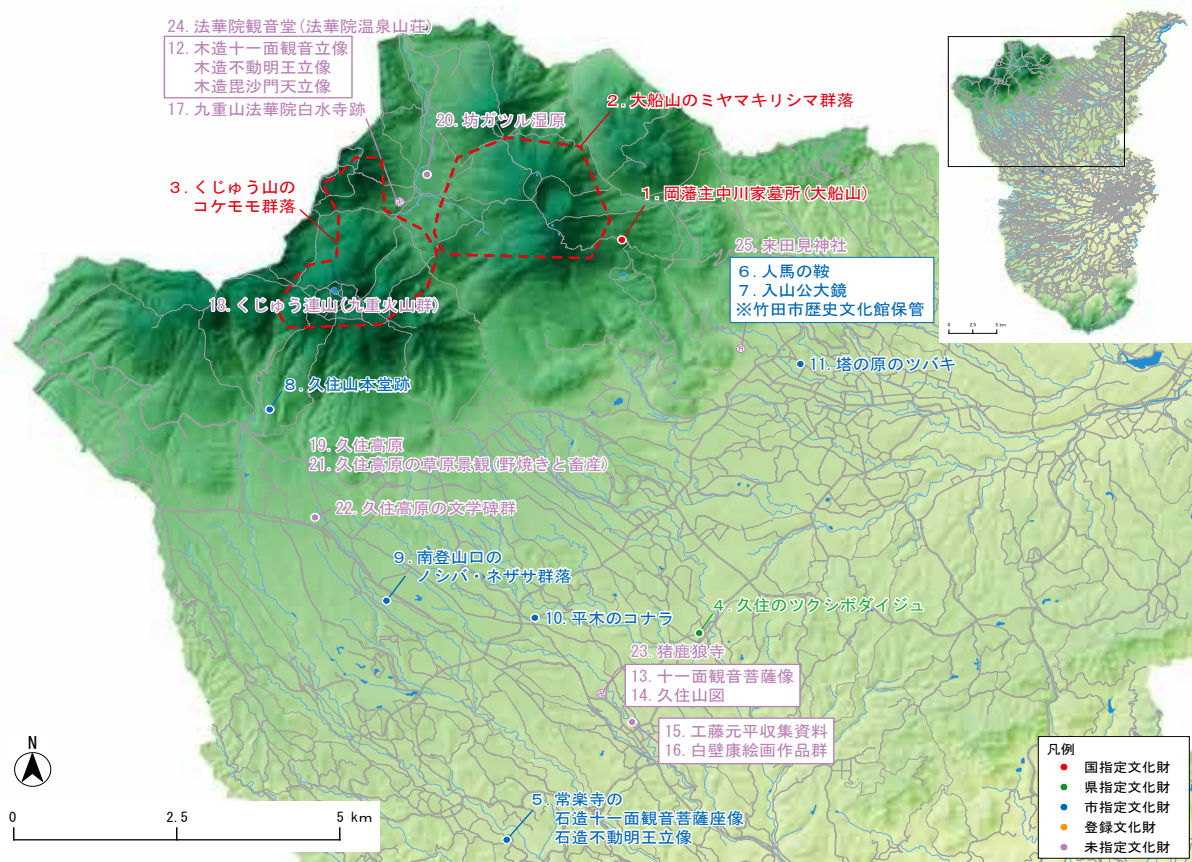


図 23 : くじゅうの大自然に育まれた歴史文化と営み位置図

関連文化財群 2 「日本一の炭酸泉」と長湯の温泉文化

大分県は「おんせん県」と呼ばれる程に、源泉数と湧出量で日本一を誇る。そのうち長湯温泉は「日本一の炭酸泉」として親しまれ、古くから湯治場として賑わってきた。古くは湯原温泉ゆのはると言い、中世には朽網氏くたみの管理下にあった。入湯施設が整い始めたのは江戸時代になってからのこと。岡藩により湯屋や御茶屋が建設され、藩主や藩士が湯治に訪れた。「御前湯」が成立したのは安永10年(1781)で、岡藩老職中川寛得軒かんとくけん(古田廣安ひろやす)の設計によったと伝わる。「御前湯」は現在にも受け継がれ、公営浴場として温泉療養文化館「御前湯」が平成10年(1998)に建てられた。

湯乃原天満社の前に薬師堂があり、岡藩6代藩主中川久道の側室陽光院ひさみちゆかりの石造薬師如来立像と石造地藏菩薩立像が祀られている。胃腸の病を患い苦しむ陽光院のもとに、薬師如来と地藏菩薩が現れ、湯原温泉で治療すれば治ると告げたと伝わる。温泉による諸病退散等を祈願するために「温泉供養」が行われ、温泉の守護神である二尊を清めるための湯浴み行事が行われていた。また、二尊に奉納された温泉の湯に特に効能があるとされ、祭当日は温泉を汲んで飲む人が後を絶たなかった。近年、湯浴みは中止され、法要時に温泉の湯が奉納されるのみとなったが、奉納される温泉水は各温泉から持ち寄られたもので、長湯温泉の発展とそこで生活する住民が温泉へ感謝する行事として法要が行われ、温泉街では神輿が巡行する。この「温泉供養」は住民や湯治客で賑わい、長湯温泉を象徴する行事のひとつである。

現在の長湯温泉の温泉街には、温泉旅館・共同浴場・公営浴場の入湯・宿泊施設や商店等が立ち並び、温泉街を流れる芹川せりかわへ流れ込む温泉の湯と、そこに鍾乳石のように堆積した湯とじ(湯あか)が、奥豊後の小さな温泉町長湯の情緒を醸し出している。特に、川沿いで存在感を放つ「ガニ湯」は長湯温泉のシンボルとして多くの人々に親しまれてきた。国内最大の炭酸泉の湧出量と高濃度炭酸を誇る温泉地であり、昭和8年(1933)に九州帝国大学の松尾武幸博士は長湯温泉の泉質を分析し、世界でも稀有な含鉄炭酸泉であると紹介し、「飲んで効き長湯して利く長湯のお湯は心臓胃腸に血の薬」と称えた。長湯温泉には飲泉という温泉を飲む文化もあり、湯治客は入浴と飲泉を繰り返しながら体の養生を行ってきた。昭和60年(1985)の入浴剤メーカーの調査によって「日本一の炭酸泉」であることが証明されている。旧直入町では「日本一の炭酸泉」を宣伝、飲泉場を整備し、ドイツの温泉地と文化交流を行うなど独自の温泉文化を展開してきた。



薬師如来・地藏菩薩立像



ガニ湯と長湯温泉街



現在の「御前湯」

【構成文化財】

	分類	名称	指定等
1	有形文化財(美術工芸品)	石造薬師如来立像・石造地藏菩薩立像	市指定
2	民俗文化財(無形の民俗文化財)	長湯温泉の温泉供養(湯浴み行事)	未指定
3	民俗文化財(無形の民俗文化財)	長湯温泉の湯治文化	未指定
4	民俗文化財(無形の民俗文化財)	長湯温泉の飲泉文化	未指定
5	民俗文化財(無形の民俗文化財)	温泉糖	未指定
6	記念物(遺跡)	ガニ湯	未指定
7	記念物(名勝地)	丸山公園	未指定
8	記念物(名勝地)	権現山公園	未指定
9	記念物(動物、植物、地質鉱物)	長湯温泉の源泉(炭酸泉)	未指定
10	記念物(動物、植物、地質鉱物)	長湯温泉の石灰華	未指定
11	文化的景観	長湯温泉の温泉街	未指定
12	有形文化財(建造物)	長湯温泉の文学碑群	未指定
13	由緒地(堂宇・小祠)	湯原薬師堂	未指定
14	由緒地(神社)	湯原天満社	未指定
15	由緒地(寺院)	温泉山温浄寺	未指定

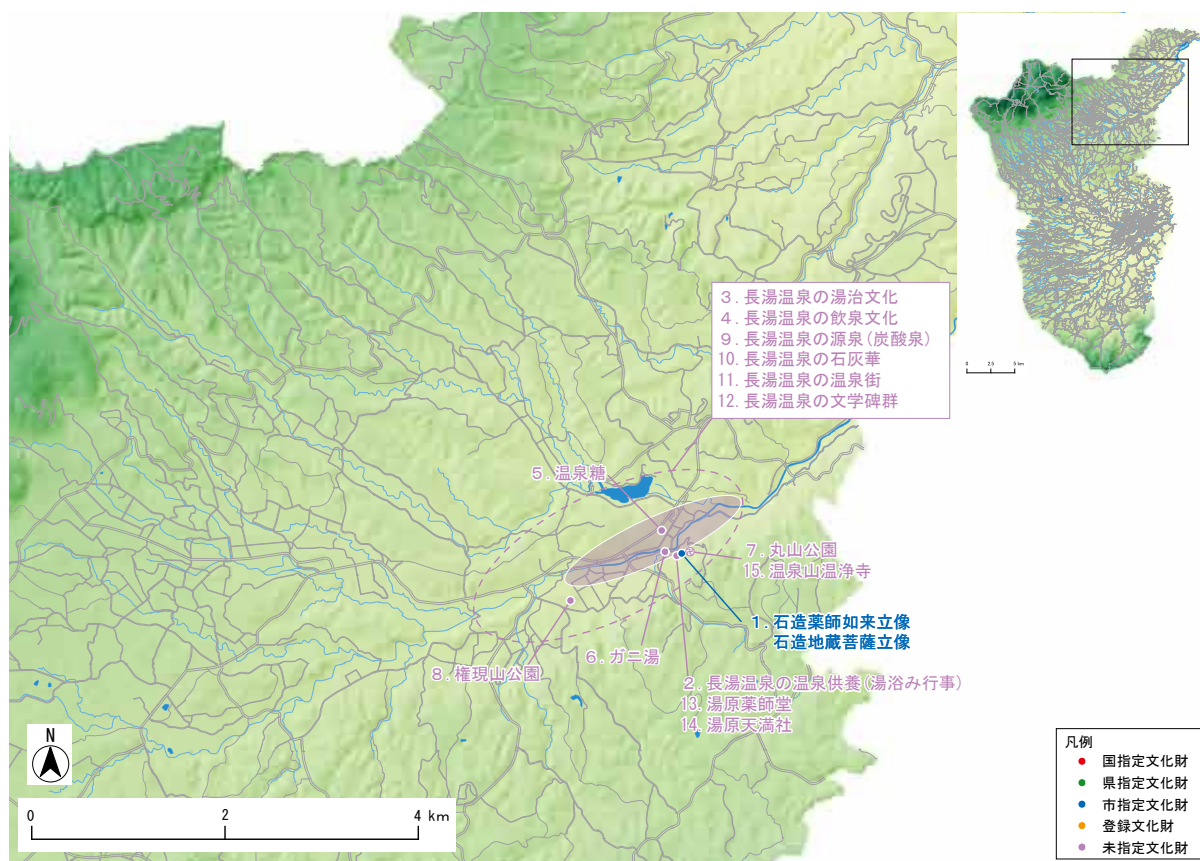


図 24 : 「日本一の炭酸泉」と長湯の温泉文化位置図